



恒例の五所川原「虫と火まつり」が、8月3日の「市内音楽行進」を皮切りに、最終日7日のねぶた運行まで5日間にわたって盛大に繰りひろげられました。

3日の夜には、昨年に引き続き虫の合同運行が行われ好評を得ました。

また、4日に行われた花火大会は今年で40回目の記念大会となり、例年を上回る規模と昨年好評を得た「水と光と音のランデブー」が、一層豪華に行われ、多くの観客を魅了しました。

まつり期間中の人出は、約55万人にのぼりました。(商工会議所発表)



毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

平成元年

No.693

8-15

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

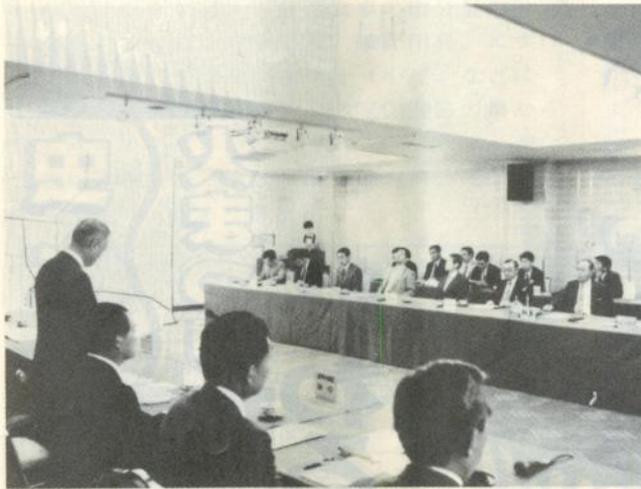
わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活気に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切に、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

平成2年度 重点事業を要望

市では、県に対する平成二年度重点事業要望説明会を七月二十六日、青森市の国際ホテルで開き、津軽自動車道の早期着工など、最重要十九件を説明、その実現を要望しました。



説明会は、佐々木市長・小山内助役、山田収入役及び市幹部の関係部長と北村知事や山内・谷川両副知事のほか県の関係部長など県首脳が出席して行われました。

「五所川原市の発展だけでなく、広く西北津軽ならびに津軽半島地域の二十一世紀を切り拓くため不可欠な要望ばかりです。特段のご高配をお願いします」とあいさつを述べました。

市長が最重要十九件の要望内容を詳しく説明したあと、県から回答をいただきました。その中から、主な事業七件について報告いたします。

① 津軽自動車道の早期着工について

回答：現在、国において環境アセスメント調査、ルート調査等を進めており、同事業の早期着工について国へ働きかける。

② 養護老人ホームの建設について

現在の養護老人ホームは昭和三十九年に建設された施設で老朽化が著しく、安全で快適な生活を送れるホーム建設のため社会福祉施設整備事業の採択を要望する。

③ (仮) 市民文化会館の建設について

市民文化会館は昭和三十九年建設以来、西北津軽の中核施設として重要な役割を果たしてきたが、老朽化が著しく文化活動に対応することが困難となっております。当圏域の芸術・文化の発表、観賞の拠点として平成三年度に建設したい。

④ クラウドセンターの建設について

労働時間の短縮や週休二日制の定着等により余暇時間が増大し、市民の「スポーツ」や「健康づくり」への関心が高まっているが、当地域は冬期間の積雪量が多く、野外での活動には大きな制約を受けている。西北五地域を対象とした、クラウドセンターを建設したい。

⑤ 第二工業団地の調査について

漆川工業団地(二〇・六畝)は、県が計画し市が分譲しており、分譲可能地は四・四畝となっている。本年から当団地に工業用水の一部が給水されたので、さらに既設企業の拡大、企業誘致に弾みがつくものと考えられることから、第二工業団地の調査を要望する。

⑥ 商業近代化の調査について

回答：当工業団地は、西北五地域の工業開発の拠点として期待されており、本年において計画の延長を含めた見直しを行う予定。今後、周辺市町村と協議しながら第二工業団地についても市との連携、協力のもとに検討していきたい。

現在、国において環境アセスメント調査、ルート調査等を進めており、同事業の早期着工について国へ働きかける。

回答：市は、西北地域の中心

財源計画、利用計画等の状況に応じ実現にむけ具体的に検討していきたい。

あなたがつくる 五所川原の市政

21世紀五所川原市民会議

地域集会の開催決まる

市民の皆さんが願う五所川原の未来ある市政をつくるのは、それはあなたです。五所川原を愛し、見守りつづけてきた市民のあなた方一人ひとりの声が、五所川原に未来ある市政をつくるのです。

今、そのときを迎えました。時代は、かつてない、新しく大きな転換期を迎えつつあります。高度な技術をもつ産業の発展は、二十一世紀の我々の生活を豊かにしていくかもしれません。しかし、過疎化していく村、高齢化していく社会、そして後継者に悩む農業の低迷、これらは五所川原にと

らびに援助を要望する。回答：フォロアアップ事業の内容や今後のコミュニティ施設整備計画の進捗状況を見極めながら対応していきたい。

三・五・二湊
寺町線街路
事業について
(新規)

市街地交通の円滑化と安

つて何を意味しているのでしょうか。単に時代の流れと見過ごしてしまつてよい事柄でしょうか。今、それらにどのような対応するのか、その道筋を模索、追求していくときです。

誰にでも誇れる五所川原、いつまでも愛される五所川原、そんな五所川原をつくるため、市民皆さんの英知を五所川原の市政におかしてください。私達、行政にたずさわるものとして皆さんとともに語り合い、市政への課題、ご意見をいただきたいと考えております。

二十一世紀五所川原市民会議「地域集会」を、次の

日程で開催します。地域集会は、どなたでも自由に参加できますし、自由に発言できます。日ごろからお考えのこと、また一度は言っておきたかったこと、ふつと湧いたアイディアなどがあると思います。なにかとご多忙の事と存じますがご参加いただき、皆さんが率直にご意見、ご提言をしてくださることを心からお待ちしています。

なお、集会后、ささやかですが懇親の時間も用意しておりますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

月	日	曜日	時間	対象地区	開催場所
8	21	月	13:30~	三好地区	コミュニティセンター三好
8	22	火	10:00~	毘沙門地区	毘沙門・長富 コミュニティセンター
8	24	木	10:00~	中川地区	コミュニティセンター中川
			13:30~	飯詰地区	コミュニティセンター飯詰
8	25	金	10:00~	長橋地区	コミュニティセンター長橋
			13:30~	梅沢地区	梅沢 コミュニティセンター
8	26	土	10:00~	七和地区	コミュニティセンター七和
			13:30~	松島地区	コミュニティセンター松島
8	28	月	10:00~	五所川原(北)	しきしまコミュニティセンター
			13:30~	五所川原(南)	市民文化会館
8	31	木	10:00~	栄地区	コミュニティセンター栄
			13:30~	小曲地区	農村婦人の家

県へ 最重

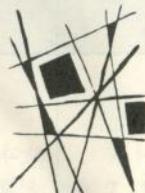
的商業地であるが、周辺地域の商業施設の充実や大型店の進出計画等により商店街は一層の整備促進が求められている。そのため本年は、五所川原商工会議所が商店街の実態を把握するためフォロアアップ事業を導入し、駅前再開発並びに中心商店街の整備方針を策定し、商店街の活性化の方向づけをするので県の指導な

らびに援助を要望する。回答：フォロアアップ事業の内容や今後のコミュニティ施設整備計画の進捗状況を見極めながら対応していきたい。

三・五・二湊
寺町線街路
事業について
(新規)

市街地交通の円滑化と安

全性を確保するため当区間の拡幅整備を要望する。回答：市全体の整備計画の中での位置づけを検討し、対応していきたい。



五所川原市で 合防災訓練 お待ちしております



◇目的：防災関係機関、団体と市民の参加のもとに、大地震を想定した各種訓練を実施し、防災活動が迅速、的確かつ総合的に行われるよう訓練するとともに、防災体制の強化と市民の防災思想の高揚を図ることを目的としています。

◇とき 九月一日(金)午前八時三十分から正午まで

◇ところ 五所川原大橋付近河川敷及び市内一円(別表のとおり)

◇災害想定 九月一日、午前八時三十分、青森県西方沖を震源とするマグニチュード七・七の大地震が発生し、五所川原市周辺は、震

度五の強震となり、建物の倒壊、火災の発生、電力、ガス、水道、電話施設、道路等に甚大な被害をもたらした。また、傾斜地では土砂崩れの起りやすい状態となつておるとの想定のもとに行われるものです。

◇訓練項目 別表のとおり。

◇主催 青森県・五所川原市

※当市で八年ぶりに開催される青森県統合防災訓練にお誘い合わせのうえ、多数ご参観ください。

◎問い合わせ先
市総務部管理課(☎35)一
一一一番内線三三五番)へ
どうぞ。

順序	訓練場所	訓練項目等	時間
1	イトーヨーカドー マルキ (柏原町)	開 会 式 火 災 通 報 初 期 消 火 避 難 ・ 避 難 誘 導 救 助 ・ 救 護 ・ 救 急 搬 送 等	8時55分 ～ 9時00分 9時00分 ～ 9時15分
2	五所川原 勤労者体育センター 陸上競技場 (飯詰)	林野火災防御訓練 空中消火資機材組立 消火薬剤混合	9時30分 ～ 9時40分
3	若山地区山林	林野火災防御訓練 空 中 消 火 地 上 消 火	9時45分 ～ 9時55分
4	梵珠少年自然の家 キャンプ場付近 (神山)	土砂災害関連訓練 連 絡 ・ 通 報 応 急 処 置 避 難 ・ 避 難 誘 導 等	10時00分 ～ 10時15分
5	五所川原大橋付近 河川敷	トライアル訓練・救助・救出 災害救援物資輸送 ガス施設 水道施設 電力施設 電話施設 自動車火災救出消火 水 難 救 助 野 外 浴 場 設 置	10時35分 ～ 12時00分



コミュニティカレッジ開講

今年で3回目となるコミュニティカレッジ(地域振興大学)が7月22日、青森職業訓練短期大学校で開講しました。

これは、社会人を対象にコンピュータ教育を行い、高度情報化社会に対応できる人材育成をめざして、五所川原地域工業振興懇談会が提案し、市教育委員会が主催しているものです。

同校の教授・教官と市内の誘致企業の技術者らを講師に迎え、OSやファイルの取り扱いに至るコンピュータの初歩を学ぶことになっています。

ハツラツとプレー



五所川原市身体障害者体育大会が7月30日、市民体育館で選手をはじめ来賓、市職員など約130人が参加して開かれました。同大会は、身障者の親睦と交流を図るとともに、身障者が自己の残存能力を開発することを目的に開いているもので、今年で23回目となります。

参加した選手は、18種目約2時間にわたってハツラツとプレーし、和気あいあいのうちに全競技を終了しました。

県献血運動推進大会開かれる



平成元年度県献血運動推進大会が7月27日、市民中央公民館で開かれ、県内各市町村の献血推進協議会、献血団体、日赤関係者ら約500人が出席しました。大会では、献血運動への功労団体に厚生大臣・県知事感謝状が贈られた後、体験発表が行われ献血の大切さを訴えました。

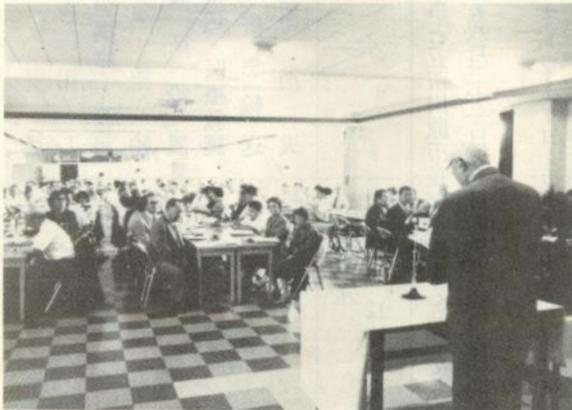
また、大会に先立ち約200人が、五一中バンドを先頭に市の繁華街をパレード、献血運動への協力を呼び掛けました。

在宅福祉の強化をめざして

第32回五所川原市社会福祉大会が7月25日、市民文化会館で市内の福祉団体関係者ら約250人が出席して開かれました。

初めに、市の福祉担当職員、ボランティアの人たちが意見発表を行い、続いて中村晃県社会福祉協議会常任理事が「在宅福祉と社会福祉協議会の役割」について講演しました。

式典では、社会福祉に功労のあった方々に表彰状と感謝状を贈って労をねぎらい、社会福祉充実へ向けて誓いを新たにしていました。





五三中・全国大会へ



五所川原第三中学校の野球部及び柔道部の藤田博臣くん(軽・中量級)、対馬一樹くん(中量級)が全国大会出場の報告に学校関係者とともに7月31日、市役所を訪れ佐々木市長から激励を受けました。同校野球部は、8月14日から17日まで横浜スタジアムで開かれる全日本少年野球全国大会に出場するもので、又、柔道部の2人は、県中体連でそれぞれ1位となり8月19日から21日まで島根県松江市で開かれる全国大会に出場が決ったものです。

なお、同校柔道部は東北大会団体の部と個人の部にも出場が決っており、その活躍が期待されています。

全国大会初の完全優勝

五一高少林寺拳法部

去る7月23日に新潟市体育館で開かれた第16回全日本高校少林寺拳法大会で女子団体演武の部に優勝した五一高少林寺拳法部チームが7月28日市役所を訪れ、佐々木市長に優勝報告をしました。同部は、女子有段の部で寺田朋美・宮崎資子組が、同段外の部で菊池真由美・対馬のりこ組がそれぞれ優勝、同団体演武の部でも優勝を飾り実技の3部門を制しました。3部門を制したのは初の快挙とあって関係者は喜びに沸いています。

日本女子ソフトボールリーグ

五所川原大会が開かれる



平成元年度日本女子ソフトボールリーグ第1部第2節五所川原大会が7月29日から31日までの3日間、市営球場と商業高校グラウンドを会場に開かれ、熱戦を繰り広げました。

今大会には、日本最高水準の技術を持つ8チームが参加し、観客は国内一流のプレーに連日の暑さを忘れて応援していました。

投票日 9月10日 市議会議員一般選挙

市選挙管理委員会は、七月三十一日委員会を開き、市議会議員一般選挙の投票日等を次のとおり決定しました。

- ▽告示日 九月三日(日)
- ▽投票日 九月十日(日)
- 投票できる人は次のとおりです。
- ▽年齢要件 昭和四十四年九月十一日以前に生まれた人。
- ▽住所要件 平成元年六月二日までに五所川原市の住民基本台帳に登録され、かつ引き続き居住している人。
- ◎不在者投票 九月三日から九月九日まで、毎日午前八時三十分から午後五時までできます。

※ご注意 五所川原市では、従来から「投票所入場券」を配布しておりません。選挙権の有無、投票所についてわからない方は、お早めに市選挙管理委員会へおたずねください。

さらに選挙について詳しく知りたい方は、市選挙管理委員会事務局(☎35-211-11 番内線三三七〇九番)へお問い合わせください。

児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届を

現在受給されている方は、毎年1回8月にその年の8月1日現在の状況を届け出ることになっています。

次の表の関係書類を添付し、届け出をしてください。

この届をしなければ、8月以降の手当を受けられません。

▷提出期間 8月18日～25日(厳守)

▷持参するもの 児童扶養手当証書、特別児童扶養手当証書、印鑑、その他別表を参照してください。

▷提出先 市福祉事務所児童係(☎35)2111番内線243番)

※なお、法の一部改正により支給額が変わります。

区分	添付書類
離婚	1.世帯全員の住民票
死亡	1.世帯全員の住民票
遺棄	1.世帯全員の住民票 2.本人の申立書及び福祉事務所長等の証明
拘禁	1.世帯全員の住民票 2.刑務所長等の証明
未婚の母	1.世帯全員の住民票 2.対象児童の戸籍謄(抄)本
生死不明	1.世帯全員の住民票 2.福祉事務所・警察等の証明
養育者	1.世帯全員の住民票 2.養育申立書及び民生委員等の証明
母の別居監護	1.世帯全員の住民票 2.別居監護の申立書及び学校長等の証明
他市町村(他県を含む)からの転入者	平成元年1月2日以降に転入した場合、前住地の市町村長からの転入者
障害	1.世帯全員の住民票 (有期診断の場合は診断書)

近世古文書解説講習会

▷日時 8月27日(日)10:00～16:00

▷場所 市中央公民館

▷定員 50名

▷テキスト代 500円(申し込みと同時に納入してください)

▷講師 福井雄三(県文化財保護協会常任理事) 豊島勝蔵(市文化財審議委員)

▷申し込み先 市教育委員会社会教育課(☎35)2111番内線250番)

主催 県文化財保護協会、県立図書館、市教育委員会

「移動農業委員会」を開催

市農業委員会では、次の日程により移動農業委員会を開催いたしますので、近隣の方々とお誘い合わせのうえご来場ください。

▷内容 ○農地問題一般○農業者年金制度○その他農業問題全般

▷指導・助言 五所川原地区農業改良普及所、市農林課、各農業協同組合

▷日時・場所

月日	時間	場所
8月25日 (金)	9:30～	梅沢コミュニティセンター
	13:00～	コミュニティセンター栄
8月28日 (月)	9:30～	コミュニティセンター松島
	13:00～	コミュニティセンター飯詰
8月29日 (火)	9:30～	コミュニティセンター長橋
	13:00～	コミュニティセンター七和
8月30日 (水)	9:30～	毘沙門・長富コミュニティセンター
	13:00～	コミュニティセンター三好
9月1日 (金)	9:30～	コミュニティセンター中川
	13:00～	産経会館4階会議室

※お問い合わせは、市農業委員会(☎35)2111番内線229番)へどうぞ

農業者年金に加入しましょう

農業者年金は、国の法律に基づく年金制度であり、将来にわたって安心できる年金制度です。

◎加入できる資格要件(国民年金加入者に限る)

①当然加入…自分名義の農地等の面積が50アール以上の農業経営主

②任意加入

●自分名義の農地等の面積が30アール以上50アール未満の農業経営主

●50アール以上の農業経営主の直系卑属(子や孫)

●農業生産法人の常時従事者たる構成員

いずれも20年以上の保険料納付済期間がないと受給できません。

加入手続きは、農協の窓口で簡単にできます。

※詳しいことは、農業協同組合または市農業委員会(☎35)2111番内線246番)へどうぞ。

心の輪を広げる 体験作文を募集

▷テーマ 出会い、ふれあい、心の輪—学校、職場、地域でのあなたの体験を広げよう—
タイトルは自由ですが、学校や社会生活、地域活動等のなかで、障害を持つ人、持たない人相互の心のふれあい体験を通じて学んだことや感じたことあるいは社会に訴えたいこと等。

▷応募資格 小学生以上であればどなたでも応募できます。

▷応募方法 用紙は400字詰原稿用紙に小・中学生—2~4枚程度。高校生・一般は5~8枚程度。別紙にタイトル、氏名、年齢、性別、職業又は学校、学年、住所、電話番号その他参考事項(障害の有無)を書いて、応募作品に添付してください。

▷応募先及び問い合わせ先

県生活福祉部障害福祉課(〒030青森市長島1-1-1 ☎0177②1111番内線2292番)へどうぞ。

『三陸と民話の里遠野の旅』



参加者募集

青森県歴史の道整備促進協議会では、三陸と民話の里遠野の旅を行ないます。

◎日時 9月9日(土)~10日(日) 9日午前6時中三前出発

◎会費 18,500円(宿泊、見学科、昼食)

◎申し込み先 青森市大字松森字佃 青森県歴史の道整備促進協議会事務局(☎0177④1064番) 8:30~16:00—日曜日除く

◎申し込み締切 9月2日(土)

9月の市民体育館 市営球場 催し物案内

●市民体育館

- 2日 津軽野保育園運動会
- 3日 市内学区対抗ママさん体育大会
- 5日 老人福祉大会
- 12日 老人スポーツ大会
- 15日 西北五剣道選手権大会
- 16日~17日 北五中学校新人卓球大会
- 23日 青森県少林寺拳法大会
- 24日 市民卓球選手権大会

●市営球場

- 2日~3日 秋季リーグ戦
- 8日~11日 秋季地区大会
- 15日 町内対抗野球
- 16日~17日 北五中体連野球
- 23日~24日 川上旗中学校新人戦

平成2年版

県民手帳

<主な内容>

- 予定編(こよみと月間)
- 資料編(県の概要、市町村勢)
- 名簿編(国会、県議会、行政機関、教育文化、体育施設等)
- 年齢早見表、住所録

◎価格400円

平成元年度

県勢グラフ

<主な内容>

- 青森県主要指標
- 統計グラフ
- 市町村の概要(土地、人口、農林水産業、事業所、工業、商業、所得、財政、教育、医療)

◎価格350円

※手帳及びグラフのほしい方は、8月25日までに各地区の行政連絡員へお申し込みください。

なお、詳しいことは市総務部秘書企画課統計調査係(☎⑤2111番内線319番)へお問い合わせください。

警察官(B)・交通巡視員 採用試験

県警察本部では、高等学校卒業程度の人を対象として警察官及び交通巡視員の採用試験を次のとおり行います。

▷採用予定人員

- 警察官 約20人
- 交通巡視員 約1人

▷受験資格

- 警察官 昭和37年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた男子。ただし学校教育法による大学の学部を卒業した者又は平成2年3月31日までに卒業する見込みの者(人事委員会が同等の資格があると認める者を含む。)を除く。
- 交通巡視員 昭和41年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた女子。

▷試験日程

- 第一次試験 10月15日(日) 青森商業高等学校、弘前高等学校、八戸西高等学校
- 第二次試験 11月28日(火) 県警本部

▷申し込み受付 9月18日(日)まで

詳しいことは、五所川原警察署(☎⑤2141番)へどうぞ。

第23回納涼慈善茶会

▷日時 8月27日(日)午後2時~6時

▷場所 みずとみどりの小公園(市内新町)

主催 茶道裏千家淡交会青森支部青年部五所川原分会

減塩教室のお知らせ

塩が命を縮める。……家庭の味がちょっとり塩味になりすぎていないか、これを機会にみなおしてみませんか。

- ▷ **テーマ** 塩分を1日10g以下に減らしましょう。
- ▷ **時間** 9:30~13:00
- ▷ **内容** ①栄養士による減塩食事指導②家庭のみそ汁塩分測定③1日の食事の塩分量の計算
- ▷ **持参するもの** 健康手帳、筆記用具、エプロン、ふきん、ごはん、みそ汁(小ビンなどに入れて)、食事診断用紙(地区保健協力員からもらってください)
- ▷ **申し込み方法** 地区の保健協力員へ(参加申し込み用紙があります)

対象地区	開催月日	開催場所	申し込み期間
長橋地区	8月23日(火)	コミュニティーセンター長橋	8月15日 ↓ 8月21日
飯詰地区	8月24日(木)	コミュニティーセンター飯詰	
長橋地区	8月25日(金)	松野木会館	8月15日 ↓ 8月25日
栄・みどり町	8月30日(水)	コミュニティーセンター栄	
七和地区	9月4日(月)	前田野目公民館	
梅沢地区	9月8日(金)	梅沢コミュニティーセンター	

※地区により日程・場所・申し込み期間が違いますのでご注意ください。なお、詳しいことは市衛生課(☎352111番内線268・272番)へどうぞ。



短

社協に吾協力すとて寝たきりの老を丹念に湯
あみさせおり 宮崎 フサ
朝明けに孫と二人で梟の住み処(か)探しぬ
裏の林に 三上きよみ
十六の誕生祝いの赤い帯八十歳の今しめて又
楽し 楠美 チヨ
わが村は出稼者の多くして献血百本ようやく
得たり 堀内きみ子
消費税取られることにすぐ馴れて吾もかしこ
き国民の一人か 山谷 久子
磨き終えし玻璃の向うに音もなく飛行機の見
ゆ一つ光りて 野呂 富枝

歌

津軽アスナロ五所川原支部

平成元年度潜在看護力活用講習会 —在家庭看護婦等トレーニング—

- ▷ **期日** 9月25日~29日 午前9時~午後3時
- ▷ **場所** 弘前大学医療技術短期大学部
- ▷ **受講資格** 保健婦、助産婦、看護婦及び准看護婦の免許所有者で、現在看護業務に従事していない者
- ▷ **受講料** 無料
- ▷ **申し込み先及び問い合わせ先**
県環境保健部公衆衛生課衛生看護班(〒030青森市長島1-1-1 ☎0177221111番内線3124番)へどうぞ。

9月の保健センター相談日

- 9月1・8・22・29日です。(22・29日は正午まで)
- ▷ **時間** 午前10時~午後3時
- ▷ **内容** 保健婦が血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

乳幼児の健康診査

- ▷ **場所** 市保健センター
- ▷ **受付時間** 12:45~13:00まで
- ▷ **持参するもの** 母子健康手帳、パスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小ビンに尿を入れてもってきてください。
- ※ **注意** ①6カ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口にてセットをもらいにきてください。(ただし生後6カ月、7カ月児に限る)。
②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんにはご遠慮ください。

月令	対象児	期日	内容
3カ月児	H元年5月生	9月12日(火)	健康診査
6カ月児	H元年2月生	9月19日(火)	健康相談
1歳児	S63年8月生	9月25日(月)	健康相談
1歳6カ月児	S63年3月生	9月26日(火)	健康診査
3歳児	S61年5月生	9月21日(木)	健康診査

8月31日は
国民健康保険税の
第2期分納付期限日です
忘れずに納付しましょう